

管内事業概要

「世界の北海道を目指して」
北海道総合開発計画



鹿ノ子ダム(釧路市)



遠軽北見道路(生田原道路) サロマ湖漁港(アイスブーム) 津別地区(国営農地再編整備事業)

国土交通省 北海道開発局 **網走開発建設部**

T093-8544 網走市新町2丁目6番1号

ホームページ: <https://www.hkd.mlit.go.jp/ab/>

Twitter: https://twitter.com/mlit_hkd_ab

治水事業

網走開発建設部の治水事業は、一級河川4水系(網走川水系・常呂川水系・湧別川水系・津別川水系)の河川改修、維持修繕及び川川管理、常呂川水系ノゾダムの維持管理を実施しています。

令和5年度は、第8期北海道総合開発計画に掲げられた「世界の北海道」を実現するため、強靱な国土づくりへの貢献と安全・安心な社会基盤の形成に資するための「ツナグ整備-老朽河川対策の推進」を図るとともに、農水産業や観光等を担う「生産空間」の保持・形成に資する治水事業を実施します。

- 大規模水害に備えた治水対策の推進**
 - 気候変動等に伴う水害の激化に備えるため、これまで河川管理等による対策だけでなく、流域に関わるあらゆる関係者が流域全体で取り組む「流域治水」を推進します。
 - 「流域治水」の考え方に基づき、河川掘削、堤防整備等の治水対策をより一層推進するとともに、施設能力を高める洪水の補償化等を踏まえ、ハード・ソフト一体の事前防災対策を推進します。
- 強靱で持続可能な国土の形成**
 - 「防災・減災、国土強靱化のための5か年追加対策」に基づく「ハード・ソフト一体の推進(網走川、常呂川、湧別川、津別川)」
 - 気候変動の影響による水害の激化・頻発に対応するため、あらゆる関係者が協働して取り組む「流域治水」の考え方に基づき、ハード・ソフト一体となった事前防災対策を推進するとともに、気候変動による影響を踏まえ、河川における河川掘削、堤防整備、堤防強化、ダムの事前防災対策を実施します。

河川維持修繕(網走川・常呂川・湧別川・津別川)

安全・安心な河川の機能保持のため、堤防修繕や河川掘削、全修繕を行うとともに、既存の河川構造物が機能するよう、必要な修繕、適切な更新を行うなど、地域との連携及びコスト削減に努めつつ、的確な河川の維持管理を実施していきます。

河川維持修繕(網走川・常呂川・湧別川・津別川)

安全・安心な河川の機能保持のため、堤防修繕や河川掘削、全修繕を行うとともに、既存の河川構造物が機能するよう、必要な修繕、適切な更新を行うなど、地域との連携及びコスト削減に努めつつ、的確な河川の維持管理を実施していきます。

河川掘削

河川掘削は、河川の機能を維持し、洪水時の危険性を低減するための重要な取り組みです。令和5年度は、網走川、常呂川、湧別川、津別川の各河川において、掘削工事を実施します。

堤防修繕

堤防修繕は、洪水時の被害を防ぐための重要な取り組みです。令和5年度は、網走川、常呂川、湧別川、津別川の各河川において、堤防修繕工事を実施します。

気象×水害×土砂災害情報マルチモニタ

気象情報、水害、土砂災害情報および災害発生情報等をスマートフォン等でまとめて閲覧することを可能としたポータルサイトを開設されています。

<https://www.river.go.jp/portal/>

都市水環境整備事業

住民、企業、行政が連携し、その地域の河川が有している歴史や文化あるいは優れた景観を備えた重要なオープンスペースを活かすことで、観光振興や環境整備などにより地域活性化に貢献する「まちと水が融合した良好な空間形成(ゆまづくり)」を推進します。

ゆまづくり

網走川沿いの川川管理用道路(敷設路)を活用し、観光・交流施設を整備することで、ワークキング・サイクリングコースやイベントスペースとして活用することで、観光・交流の賑わいを創出し、地域の活性化を図ります。

かわたび ぽかぽかどう

四季折々の川の自然環境や景観、水辺の活動、サイクリング環境等の魅力を積極的に発信し、観光客や市民の交流を促進し、地域の活性化を図ります。

港湾整備事業

オホーツク圏は安全で良質な水産物の供給基地であり、管内港湾は、農水産物の物流など背後地域の生活・産業を支える拠点として、また、沖合・沿岸漁業の基地として重要な役割を担っています。

令和5年度は、第8期北海道総合開発計画に示された施策を推進するため、「世界に目を向けた産業の振興」(強靱で持続可能な国土の形成)に向けた基礎整備を重点的に取り組みます。

網走港

新港地区において、港内の静穏度を向上させ、船舶の安全な利用を確保するため、防波堤の整備、防災、国土強靱化を推進します。

紋別港

港町地区において、安全・安心な荷役環境を確保するため、係留施設の老朽化対策を行うとともに、屋根付き岸壁を整備し、水産物の高品質確保を向上させ、輸出競争力の強化を図ります。

「ゼロカーボン北海道」の実現に向けて

地球温暖化防止が重要な課題となっている中、北海道の豊かな自然や地域資源を活かしてグリーン社会の実現を主導していくことが求められています。北海道は、第8期北海道総合開発計画に示された施策を推進し、強靱で持続可能な国土を形成していきます。

ゼロカーボン北海道の実現に向けた取組事例

- 「道の駅」を活用した次世代自動車普及促進
- 河川防炎STへの太陽光発電設備の設置
- 建設現場における、省エネ技術の導入
- 次世代自動車の普及を促進するため、国・北海道・自治体、事業者等が連携し、全ての建設現場のCO₂排出量を削減。
- 建設現場における省エネ技術の導入
- 建設現場における省エネ技術の導入

多様な人材の確保

シニョークパイウェイ北海道

シニョークパイウェイは、地域住民の生活や観光振興に資するよう、多様な人材の確保を推進します。

シニョークパイウェイ北海道

シニョークパイウェイは、地域住民の生活や観光振興に資するよう、多様な人材の確保を推進します。

シニョークパイウェイ北海道

シニョークパイウェイは、地域住民の生活や観光振興に資するよう、多様な人材の確保を推進します。

キャッチフレーズ「世界の北海道」

「世界の北海道」を目指して、北海道総合開発計画を推進します。

強靱で持続可能な国土

安全・安心な社会基盤の形成に資する取り組みを推進します。

道路事業

第8期北海道総合開発計画に基づき、主要施策である「食料供給基地としての持続的発展」、「世界水準の観光地の形成及び強靱で持続可能な国土の形成」を推進するための道路事業を行います。

オホーツク圏は、優れた自然資源(農林水産物、観光、自然)があり、各地域へのアクセスを妨げる峠道が存在し、また、冬期は流氷により海路が閉ざされるため、道路は重要な交通手段となっており、近年多発する暴風雪や台風などの自然災害が大きな課題となっています。こうした状況を改善するため、大規模道路の整備、防災対策など安全・安心な道路を確保し、支える道路づくりを進めます。

- 食と観光を担う生産空間の維持・発展と人々が暮らす地域社会の実現**
 - 広域分散型社会を支える高規格道路ネットワークの整備
 - 地域資源を活かした多様な観光メニューの充実
- 世界水準の観光地の形成**
 - 観光客の利便性を向上させる道路の整備
 - 安全・安心な道路の整備

シニョークパイウェイ北海道の推進

シニョークパイウェイ北海道は、安全・安心な道路の整備を推進します。

シニョークパイウェイ北海道

シニョークパイウェイは、地域住民の生活や観光振興に資するよう、多様な人材の確保を推進します。

交通安全対策の推進

事故多発区間や危険区間を特定し、重点的な対策を実施する「事故多発区間対策」を推進します。

事故多発区間対策

事故多発区間や危険区間を特定し、重点的な対策を実施する「事故多発区間対策」を推進します。

農業農村整備事業

管内では、畑作が中心を主体とした大規模な土地利用型農業や水田、野菜作など多様な農業が展開されています。農業農村整備事業では、北海道の食料供給力を向上させ、農業の持続的発展を図るとともに、地力(かんがい、排水)の整備による生産基盤の整備を推進します。

令和5年度は、第8期北海道総合開発計画に示された施策を推進するため、「世界に目を向けた産業の振興」(強靱で持続可能な国土の形成)に向けた基礎整備を重点的に取り組みます。

国営かんがい排水事業

農業用水の安定供給のため、網走川中央地区、北見二期地区、網走川豊住地区の事業を推進します。

直轄明渠排水事業

排水機能向上による浸水被害防止のため、常呂川下流地区、網走川豊住地区の事業を推進します。

農業農村整備事業の概要

1 実施地区

実施地区	地区名	事業内容	事業の概要
網走川中央地区	網走川中央地区	排水設備	排水設備1,1万㎡、雨水設備4,000㎡
	北見二期地区	排水設備	排水設備1,1万㎡、雨水設備5,000㎡
	網走川豊住地区	排水設備	排水設備1,1万㎡、雨水設備5,000㎡
常呂川下流地区	常呂川下流地区	排水設備	排水設備1,1万㎡、雨水設備5,000㎡
	網走川豊住地区	排水設備	排水設備1,1万㎡、雨水設備5,000㎡
網走川豊住地区	網走川豊住地区	排水設備	排水設備1,1万㎡、雨水設備5,000㎡
	網走川豊住地区	排水設備	排水設備1,1万㎡、雨水設備5,000㎡
網走川豊住地区	網走川豊住地区	排水設備	排水設備1,1万㎡、雨水設備5,000㎡
	網走川豊住地区	排水設備	排水設備1,1万㎡、雨水設備5,000㎡

2 調査計画地区

調査計画地区	地区名	調査内容	受益面積 (ha)
網走川中央地区	網走川中央地区	排水設備調査	2,289
	網走川中央地区	排水設備調査	2,289
常呂川下流地区	常呂川下流地区	排水設備調査	701
	常呂川下流地区	排水設備調査	701
網走川豊住地区	網走川豊住地区	排水設備調査	2,387
	網走川豊住地区	排水設備調査	2,387
網走川豊住地区	網走川豊住地区	排水設備調査	4,188
	網走川豊住地区	排水設備調査	4,188
網走川豊住地区	網走川豊住地区	排水設備調査	2,433
	網走川豊住地区	排水設備調査	2,433
網走川豊住地区	網走川豊住地区	排水設備調査	3,663
	網走川豊住地区	排水設備調査	3,663

水産基盤整備事業

管内の第4漁港は、オホーツク海を漁場とする沖合・沿岸漁業の生産・流通拠点及び避避拠点として重要な役割を担っています。令和5年度は、「水産物の成長産業化に向けた拠点機能強化対策」(持続可能な漁業生産を確保するための漁港施設の強化・長寿命化対策)を重点的に推進します。

ウトロ地区

漁業活動の効率化や岸壁等の耐震性の強化を図るとともに、新規漁業者の育成を図ります。

サロマ湖地区

湖上航路の漂流対策及び漁船航行の安全確保を図るとともに、外郭施設などの整備を行います。

元福府地区

漁港内の静穏度を向上させるため、外郭施設などの改良を行います。

網走管内地区

ウトロ漁港、能取漁港、サロマ湖漁港及び元福府漁港において、漁港施設の長寿命化を図るとともに、外郭施設などの整備を行います。

水産基盤整備事業の概要

1 実施地区

実施地区	地区名	事業内容	事業の概要
サロマ湖地区	サロマ湖地区	外郭施設	外郭施設: 防波堤(測量・設計) 保留施設: 水深4.5m岸壁(測量・設計) 漁港防波堤(測量・設計)
	サロマ湖地区	外郭施設	外郭施設: 防波堤(測量・設計) 保留施設: 水深4.5m岸壁(測量・設計) 漁港防波堤(測量・設計)
元福府地区	元福府地区	外郭施設	外郭施設: 防波堤(測量・設計) 保留施設: 水深4.5m岸壁(測量・設計) 漁港防波堤(測量・設計)
	元福府地区	外郭施設	外郭施設: 防波堤(測量・設計) 保留施設: 水深4.5m岸壁(測量・設計) 漁港防波堤(測量・設計)
網走管内地区	網走管内地区	外郭施設	外郭施設: 防波堤(測量・設計) 保留施設: 水深4.5m岸壁(測量・設計) 漁港防波堤(測量・設計)
	網走管内地区	外郭施設	外郭施設: 防波堤(測量・設計) 保留施設: 水深4.5m岸壁(測量・設計) 漁港防波堤(測量・設計)

2 調査計画地区

調査計画地区	地区名	調査内容	受益面積 (ha)
サロマ湖地区	サロマ湖地区	排水設備調査	2,289
	サロマ湖地区	排水設備調査	2,289
常呂川下流地区	常呂川下流地区	排水設備調査	701
	常呂川下流地区	排水設備調査	701
網走川豊住地区	網走川豊住地区	排水設備調査	2,387
	網走川豊住地区	排水設備調査	2,387
網走川豊住地区	網走川豊住地区	排水設備調査	4,188
	網走川豊住地区	排水設備調査	4,188
網走川豊住地区	網走川豊住地区	排水設備調査	2,433
	網走川豊住地区	排水設備調査	2,433
網走川豊住地区	網走川豊住地区	排水設備調査	3,663
	網走川豊住地区	排水設備調査	3,663

管内市町村の概要



市町村	面積 (km ²)	人口	世帯数
網走市	1,427.41	112,283	57,128
網走市	471.00	33,056	17,128
網走市	438.41	17,992	9,128
網走市	716.80	4,152	2,128
網走市	737.12	10,802	5,401
網走市	402.76	3,784	1,892
網走市	286.89	4,454	2,227
網走市	190.95	4,584	2,292
網走市	327.27	2,655	1,328
網走市	404.94	4,710	2,355
網走市	1,332.45	19,298	9,649
網走市	505.79	8,034	4,017
網走市	768.89	2,344	1,172
網走市	362.55	1,020	510
網走市	308.08	1,460	730
網走市	636.88	1,460	730
網走市	343.66	6,706	3,353

令和5年度 事業費総括表

事業費	令和5年度予算額 (千円)
道水	39,981千円
道港	175千円
港湾整備	9,981千円
都市水環境整備	1億2,000千円
水産基盤整備	13,989千円
合計	24,841千円

事業別の構成

- 道水: 16.1%
- 道港: 0.4%
- 港湾整備: 3.2%
- 都市水環境整備: 4.9%
- 水産基盤整備: 61.7%

管内の概況

位置・気候

管内の西部を南北に北見山地、南部を東西に千歳火山帯が走り、北東部は280kmにわたってオホーツク海に接し、3市14町1村で構成されています。

気候は、冬期間の寒さは厳しいものの比較的穏やかで、年間平均降水量が約2,000mmと少なく、日照時間も多く、農業生産に適しています。沿岸部では、おおむね1月下旬～3月にかけて、オホーツク海特有の流氷により海面が覆われます。しかし、地球温暖化の影響を受け、近年では減少傾向にあります。

産業

管内の農業は、畑作と畜産を中心とした大規模農業が展開されています。管内には、オホーツク海を漁場とする沖合・沿岸漁業の生産・流通拠点及び避避拠点として重要な役割を担っています。令和5年度は、「水産物の成長産業化に向けた拠点機能強化対策」(持続可能な漁業生産を確保するための漁港施設の強化・長寿命化対策)を重点的に推進します。

管内の概況

農業

管内の農業は、畑作と畜産を中心とした大規模農業が展開されています。管内には、オホーツク海を漁場とする沖合・沿岸漁業の生産・流通拠点及び避避拠点として重要な役割を担っています。令和5年度は、「水産物の成長産業化に向けた拠点機能強化対策」(持続可能な漁業生産を確保するための漁港施設の強化・長寿命化対策)を重点的に推進します。

林業

管内には、豊富な森林資源があります。令和5年度は、森林資源の有効活用を図ります。

漁業

管内には、豊富な漁業資源があります。令和5年度は、漁業資源の有効活用を図ります。

管内の概況

観光

管内には、豊富な観光資源があります。令和5年度は、観光資源の有効活用を図ります。

工業

管内には、豊富な工業資源があります。令和5年度は、工業資源の有効活用を図ります。

人口

管内の人口は、令和5年度は、人口が減少傾向にあります。

